

No.30号 Matrix, No.30 (May 30, 2001)

1) えひめ丸事件特集 続

第67回例会（えひめ丸事件関連・平成13年4月26日）概要 長尾 實三

- ・会長ご挨拶 えひめ丸沈没事件をめぐって II 石谷 清幹
- ・えひめ丸事故、NTSB、海難調査考審判、MAIB 在田 正義
- ・えひめ丸と米原潜グリーンビル衝突事件 論点と考え方 田川 俊一
- ・「沈船引揚げ」について 渋谷 正信

第67回例会に出席して（えひめ丸事件に関連して） 村上 馨

記事紹介

- ・海難審判の役割 菊池 剛 海難と審判 No.134、h.13.2.15
- ・えひめ丸衝突事故 査問会議の報告書要旨 産経新聞、h.13.4.25
- ・（出版物紹介）潜水艦衝突事故を追求する 世界の艦船6月号（通巻583号）
- ・潜水艦事故 — その長く危険な歴史 原潜の安全保障上の有用性は疑問
世界週報、2001.4.17

2) 工学倫理をどう教えるか 齊藤 了文

3) 船内での Internet 環境の構築と運用について 満生 馨

4) 海上交通システムに関する図書紹介 「マラッカ 海賊海峡」 寺田 正信

5) 交流広場の声 PFI法とCMによる韓国、仁川国際空港への
海峡横断架橋、永宗大橋の完成について思う 田中 藤八郎

6) 会員異動・新入会

7) 編集後記 長尾 實三

8) 出版物ご案内 はじめての工学倫理 齋藤 了文
海難調査考 在田 正義

No.29号 Matrix, No.29 (30Mar., 2001)

1) えひめ丸事件特集

- ・えひめ丸沈没事件をめぐって 石谷 清幹
- ・広島大学 小瀬教授に聞く 潜水艦に「自分の庭」意識 朝日新聞、2001.2.11
- ・えひめ丸海難に関する討論資料 石田 憲治
- ・えひめ丸衝突事故：NTSDの対応に注目 在田 正義
- ・地に落ちたアメリカの軍隊 石田 憲治
- ・情報開示の必要性 星野 裕志
- ・えひめ丸衝突事故：もうひとつの視角 寺田 政信
- ・「えひめ丸事件」への想い 細野 嘉昭
- ・えひめ丸事件についての考察 堀江 孟史
- ・「えひめ丸事件」に思う 村上 馨
- ・米原子力潜水艦G号による水産高校実習船E丸衝突沈没について 山村 晋一郎
- ・Commander Scott Daniel Waddle ワドル元艦長略歴 米国ホームページ

2) 第66回例会（平成13年2月28日）概要 長尾 實三

3) 『内航テクノ21概要について』のお知らせ 藤原 義則

- 4) 船の常識の挑戦する 船舶エンジニアリングセンター 同センター座長 藤原 義則
- 5) 「ナホトカ」油流出事故から4年 日本海事新聞、2001.1.31
タンカー ダブルハル化前倒し（エリカ沈没関連） 日本海事新聞、2000.9.22
- 6) 団体会員紹介 17
- 7) 会報（次回例会予定、他）
- 8) 編集後記 長尾 實三
- 9) PR フェリー客船情報 2000 池田 良穂 編集
海上交通システム研究会(MTS) 案内 及び 海上交通システム研究会規約

No.28号 Matrix, No.28 (1Jan., 2001)

- 1) 年頭のご挨拶
 - * 21世紀元年の元旦にあたって 石谷 清幹
 - * 「大型タンカーの海難調査考救助論 — シー・エンプレス号事故に学ぶ」を読んで
有田 正義
 - * 提言：海事工学会設立の勧め 大塚 耕司
 - * 新世紀にむけて、MATRIX 2001年新年号へ 岡本 洋
 - * 新世紀到来 開拓者魂で夢と希望の未来へ 小林 浩喜
 - * 小さな発見、大きな感動 寺田 政信
 - * MTSを想う 長尾 實三
 - * ODPと恐竜絶滅 古山 裕喜
 - * 「全体最適」 星野 裕志
 - * 新年のご挨拶 細野 嘉昭
 - * 太平洋全帆走横断の快挙と共に【航海日誌より】 宮脇 正明
 - * 「菜の花の沖」について 村上 馨
 - * 最近の品質管理問題について 元吉 英一
 - * 新年おめでとうございます 山村 晋一郎
 - * 河川舟運を利用した都市内交通システムについて 吉田 絃次郎
 - * 21世紀を迎えるにあたって『個』から『協』へ 鷲尾 圭司
- 2) 第65回例会（ズームインシリーズ「造船」は死語か？・平成12年12月19日）概要 長尾 實三
 - ・日本造船の活性化にむけて 岡本 洋
 - ・海事産業のパラダイムシフト 細田 龍介
- 3) 団体会員紹介 16
- 4) 「造船は死語か」アンケート集 続 山村 晋一郎、細野 嘉昭、池田 良穂、
田中 藤八郎（鉄鋼の一技術者から見た「韓国の造船業の実力は本物か」
と「我が国造船業の進む道」）
参考：新聞記事紹介（大型タンカー受注が急回復、日本経済新聞、h.12.11.22）
- 5) 会報（①本年の例会予定、他）
EM 交信 「エストニア沈没調査報告書の波紋」 池田 良穂
（编者注：前号 EM コーナーの岡本 洋氏の意見に関連して）
- 6) 編集後記 長尾 實三
- 7) PR S&O Newsletter
フェリー客船情報 2000 池田 良穂 編集

No.27号 Matrix, No.27 (10Nov., 2000)

- 1) 第64回例会（ズームインシリーズ「造船」は死語か？・平成12年10月17日）概要 長尾 實三
『造船は死語か？』若手造船技術者による産業再生への一考察 小林 浩喜
- 2) 日本造船の展望 岡本 洋
- 3) 新聞記事紹介 技術革新の必要性強調 藤原・愛徳社長が講演、日本海事新聞、h.12.10.24
- 4) 「造船」という用語について 村上 馨
- 5) 団体会員紹介 15
- 6) 交流広場の声
*テクノスーパーライナー「希望」と21世紀の海上輸送革命に対する和歌山県の取組 田中 藤八郎
*一つの想いを共有し、集い、語り、汗も流し、楽しむ『私の米酒ものがたり』 寺田 政信
- 7) 会報（①平成11年度会計報告、②会員動静、他）
- 8) EMコーナー “Estonia号”の沈没調査報告書は馬鹿げている 岡本 洋
- 9) 造船は死語か アンケート集 三宮 一泰、桂 豊、MI、MA、NT、村上 馨、
増山 雄三、石田 憲治、宮脇 正明 以上 9名の方々
- 10) 編集後記 長尾 實三
- 11) PR（表紙および裏表紙の裏）
海洋機器研究委員会
Ship&Ocean Newsletter シップ・アンド・オーシャン財団

No.26号 Matrix, No.26 (10Sept., 2000)

- 1) 第63回例会（平成12年8月3日）概要 長尾 實三
・会長挨拶。現転換期の内実I 石谷 清幹
・規制緩和の中・長距離フェリーの事業のあり方 鈴木 三郎
・国際船舶制度に関する動向 岡田 紀代蔵
・アンケート「造船は死語か」複合的問題提起 長尾 實三
- 2) 新聞記事紹介 海運を活性化するトン数税制、赤塚 宏一、朝日新聞・論壇、h.12.7.20
免責制度導入で事故再発を防げ、唐津 一、産経新聞・正論、〃 8.3
海難事故解明へ「分析官」、日本海事新聞、h.12.8.21
競争力を高める韓国造船業界、朝日新聞、h.12.9.6
- 3) 図書紹介 日本の造船業 世界の王座をいつまで守れるか 伊丹 敬之 他、NTT出版、1992.7.7
- 4) 団体会員紹介 14
- 5) 交流広場の声 関空2期事業と韓国 田中 藤八郎
- 6) 会報
- 7) 編集後記の幕引きについて 長尾 實三
- 8) PR（表紙及び裏表紙の裏） 海洋機器研究委員会
海上交通システム研究会（MTS）

No.25号 Matrix, No.25 (30Jun., 2000)

- 1) 造船再編の周辺 岡本 洋
- 2) 第62回例会（ズームインシリーズ「造船」は死語か？・平成12年5月8日）概要 長尾 實三

- ・「造船は死語か」を転換期と衰退期の差異から考える 石谷 清幹
- ・船舶に対する海賊および武装強盗の防止に向けて 増田 恵
- ・日本造船業の現状と課題 緑川 好浩
- 3) 新聞記事紹介 「海上交通システム研究会」取材記事、日本海事新聞、h.12.5.15
- 4) 団体会員紹介 1 3
- 5) 「海の日」イベント紹介 大阪市港湾局
- 6) 交流広場の声 日本漁業の将来 田中 藤八郎
「くぎ煮」用イカナゴの価格高騰に至った明石大橋の開通効果 鷺尾 圭司
- 7) ご案内 欧州超高速カーフェリー視察旅行 池田 良穂
- 8) MTS 事務局四方山話 石田 憲治
- 9) 会報 (①例会出欠連絡に FAX.利用、②新幹事 他)
- 10) 編集後記 長尾 實三
- 11) 研究会の PR (表紙及び裏表紙の裏) 海洋機器研究委員会 及び 社会動態研究会

No.24号 Matrix, No.24 (30Jun., 2000)

- 1) 新年のご挨拶
 - *2000年の元旦にあたって 石谷 清幹
 - *最近の日本はどこかおかしいと思いませんか? 石田 憲治
 - *増大する海上輸送需要—次なる活動に向けて— 今井 武久
 - *誰が、何のために。事故調査の独立性と海外情勢 岡本 洋
 - *「忠臣蔵」の話題 (「介石記」を読む) 寺田 政信
 - *船員の教育について、考えて見ませんか 中沢 武
 - *魔法の水?海洋深層水 古山 裕喜
- 2) 第 60 回記念例会 (平成 11 年 11 月 2 日) 概要 長尾 實三
 - ・第 60 回記念研究会を迎えて 石谷 清幹
 - ・情報発信のできる研究会へ 原 潔
 - ・海洋の政策研究—次なる活動に向けて— 工藤 栄介
 - ・IMO 及びその周辺の海事に関する新たな動き 池田 陽彦
 - ・船舶における 2000 年問題 新井 康夫
- 3) 他の研究会のご案内 *クルーズ客船 & フェリー研究会 池田 良穂
 - *第 2 回操船シミュレータ・シンポジウム「航行安全とシミュレータ」ご案内
 - *エネルギーと社会動態研究会 第 12 回例会開催のご案内
- 4) 会報 (①61 回例会予定 他)
- 5) 編集後記 長尾 實三
- 6) 平成 11 年度会員名簿
- 7) 研究会の PR (表紙および裏表紙の裏) 社会動態研究会 及び 操船シミュレータ・シンポジウム

No.23号 Matrix, No.23 (5Oct., 1999)

- 1) 超高速船への期待 赤木 新介
- 2) 第 59 回例会 (平成 11 年 8 月 30 日) 概要 長尾 實三
 - ・日本海運衰退のシナリオ—海運行政不在の危険を恐れる— 今井 武久
 - ・「流出を伴った大規模海難事故に対する危機管理システムの研究」 石田 憲治

- ・明石海峡入口でタンカーとフェリーが衝突する海難を想定した模擬演習の概要 石田 憲治
- ・漁業から見た油濁事故対策 鷺尾 圭司
- 3) 「近藤記念海事財団四季報」の紹介
- 4) 「注目される海外の船舶技術について」 藤原 義則
- 5) 「タンカーの安全、汚染防止、流出油対応及び補償に関する国際セミナー」概要 在田 正義
- 6) 団体会員紹介
- 7) 新聞記事紹介
 - *凶悪化する海賊封じ込め 日本のシーレーン、マラッカ海峡を行く 産経新聞、平成 11.8.19
- 8) 交流広場の声 「江戸時代の海上交通（その2）」「樽廻船による番線競争余話」 寺田 政信
- 9) 会報（①事務局変更、②60回例会予定 他）
- 10) 編集後記 長尾 實三
- 11) 出版物ご案内 フェリー・旅客船情報 '99 及び 海難調査考

No.22号 Matrix, No.22 (9Jul., 1999)

- 1) 我国の戦後の船舶の信頼性調査に関する考察と雑感 橋本 武
- 2) 第 58 回例会（平成 11 年 6 月 14 日）概要 長尾 實三
 - ・DGPS の技術動向 新井 康夫
- 3) 団体会員紹介
- 4) 新聞記事紹介
 - *東南アで海賊被害多発 日本の商船標的に 官民で対策検討へ 日本経済新聞、1999.6.30
 - *海賊対策検討会議が初会合 産経新聞、平成 11 年 7 月 3 日
 - *尖閣周辺の中国調査船活動 事前通告あれば容認 産経新聞、平成 11 年 6 月 26 日
- 5) 「海の日」イベント紹介・・・大阪市港湾局
- 6) 交流広場の声 「琵琶湖上でのレジャーボートの現状と今後」 桂 陽三
- 7) 会報（①59、60回予定、②平成 10 年度会計報告 他）
- 8) 編集後記 長尾 實三
- 9) 出版物ご案内 Steam Power Engineering 、 海難調査考 在田 正義 著作集
フェリー・旅客船情報 '99

No.21号 Matrix, No.21 (10May., 1999)

- 1) 第 57 回例会（平成 11 年 4 月 12 日）概要 長尾 實三
 - ・強制水先制度と港湾整備 井上 欣三
 - ・水先制度と強制水先対象船舶 1 万総トン移行後の対策について 小山 敬
 - ・「新生丸」事故の教訓 古荘 雅生
- 2) 荒海での流出油回収はこれでお任せ！ 岡田 紀代蔵
- 3) 内航関係のビジネスチャンス 上田 一郎
- 4) 海技大学校“MTC”と船乗りたち 松尾 諄一
- 5) 海技大学校紹介
- 6) 在田 正義氏 著「海難調査考」の書評 橋本 武
- 7) 団体会員紹介
- 8) 会報（①58、59回予定、②EM コーナー、③石谷会長 日本機械学会賞受賞 他）
- 9) 編集後記 長尾 實三
- 10) 出版物ご案内 Steam Power Engineering 及び 海難調査考